

昭和大学附属烏山病院だより あおぞら

〔発行責任者〕病院長 岩波 明
〔編集責任者〕広報委員長 常岡 俊昭
〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
〔電話〕03-3300-5231(代表)

第152号

〔2020年3月31日発行〕

退職のご挨拶

事務長 久米 徳明



「光陰矢のごとし」とはよく言ったもので、1982年(昭和57年)4月に入職して以来、アツと言う間に38年が過ぎ去り、3月末日を以って無事に定年退職する運びとなりました。

これも偏に皆様からいただいたご助力やご指導の賜物だと心から御礼申し上げます。

私は3月に退きますが4月からは診療報酬改定があり、あまり嬉しくない改定の内容が伝わってきています。新型コロナウイルスのこともあり、医療環境がますます厳しい状況に向かっている様ですが、烏山病院が一丸となって今までどおり難局を打開されることと思います。

さて私の入職してからの経歴ですが、時系列順に大学病院医事課(外来係・入院係)、教務部(現学事部)薬学部担当、豊洲病院管理課、烏山病院医事課、藤が丘病院医事課、歯科病院医事課、学事部(歯学部担当・大学院卒業後教育課・山梨県の富士吉田校舎事務課を経て現在の烏山病院に戻りましたので、古巣に戻っての退職となり、その点では良かったと思っています。

38年の在職中には山あり谷ありで、夜眠れないことも何度か経験しましたし、退職を考えハローワークに登録したこともありましたが、終わり良ければ・・・ですので、良い経験ができたと自分の中で折り合いをつけて過ごしてまいりました。

そんな中で最後の烏山病院に着任したのが2017年8月でした。2年8ヶ月と短い期間ではありましたが、自分なりにそこそこ頑張れたのではないかと自惚れておりますが、皆様の私に対する評価は如何でしょうか?

見た目が怖いと言われるので、本当に怒らなくてはいけない場面を除いては、できるだけ優しく接する様に心掛けたり、物事の判断はできるだけ簡潔に明確にする様にしたり、後輩・人材を育成するためには自分が業務を全て完結してしまうのではなく、指導はするけどやってみてもらい、経験してもらい、優先したり、その他諸々良かれと思って行動してきた積もりですが事務課の皆さんや私に係わって下さった方々は良い方向に向かってくれているのでしょうか?

自分に近い周囲の状況は客観的に判断するのが難しく、第三者からの評価が一番正しいように思いますので、これを読まれた方々の評価が気になりますし、至らなかった点や改善すべき点がありましたら、後任の事務長に是非進言していただければと思います。

最後になりますが、皆様のご活躍とご健勝を心より祈念いたしまして退職に際してのご挨拶とさせていただきます。大変お世話になりました。

退職のご挨拶

看護師長 江渡 春美

桜の花が少しずつ咲き、春を感じられる季節と共に、39年間お世話になった昭和大学を定年退職することとなります。烏山病院の勤務を拝命し4年間、多くの方々に支えながら勤務できたことに大変、感謝申し上げます。

昭和56年3月に附属看護専門学校を卒業し、昭和大学病院に就職を致しました。この年に入院棟が完成し新築の病棟への引越しを先輩と一緒にいった記憶が蘇ります。

最初に配属になった部署は胸部外科でした。心臓・肺・食道の手術を受ける患者に関わることになりここでの「患者の命を守る」教えが今の私を支えているようにも思えます。その後、数々の診療科や部署を経験し、中でも統括看護部では9年間、新人看護職の募集・採用業務をさせて頂き、全国の看護学生に当大学を紹介し就職に結びつける広報活動でした。看護師として臨床以外で仕事をするという貴重な経験をさせて頂いたことに感謝の気持ちです。

烏山病院での1年目は多くの混乱と学びがありました。壁となったのは精神保健福祉法の知識不足でした。本当に多くの皆様にご支援を賜りながらの看護管理業務のスタートとなりました。配属されたB4病棟では慢性期の患者の退院準備の大変さを学び、A3病棟の急性期では患者の急激な変化の観察やその対応力に救われました。また、精神保健福祉士という専門家と仕事をする機会が持てたことで新たに今までとは少し違った、平性や平等・倫理感を持つこともでき、成長させて頂いた烏山病院の皆様にご挨拶の気持ちです。4年間、本当にお世話になりありがとうございました。



退職のご挨拶

事務係長 高橋 創



私は昭和61年に昭和大学に入職し、富士吉田校舎、藤が丘病院、豊洲病院、豊洲クリニックを経て、加藤発達障害医療研究所長が烏山病院長として着任された平成19年4月に私も烏山病院に着任しました。

翌年からは加藤先生の指揮のもと、救急病棟等の新設、合併症病棟と慢性期病棟、アルコール病棟の閉鎖などが行われ、病院の急性期化が進められ、かなり慌ただしい時期を経て現在に至っています。

話は変わりますが、僕は花を咲かせ葉を色付かせる烏山病院の草木をととても気に入っていました。春から、梅、蛇莓、白木蓮、桜、花水木、躑躅、百日紅、曼珠沙華、椿などが季節ごとに花を咲かせ、秋には銀杏、楓、薄の葉が色づき四季を感じることができます。臨床心理士の皆さんも花壇やプランターに花を植えていただいて目を楽しませてくれました。10年ほど前には、管理係や医事係の男性陣、看護師長さん達が総出で雑草取り、草刈り、枝打ちをして、休憩していると管理課の女性陣がお茶を持ってきてくれました。とても楽しかった思い出です。

話を戻します。僕は3年ほど前に大病を患い、薬剤の副作用で歩行もままならず、仕事を休まざるを得ない状態になるなど、かなり辛い時期もありました。しかし、阿久津先生、栗原先生、高塩先生、サポートセンター・外来看護・医事係の皆さんなどの協力やサポートを受け、ご迷惑を掛けながらもなんとか定年を迎えることができました。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。皆さま、お元気で。

デイケア活動

みんなの密かな楽しみ事とは・・・？ C・Aさん

新型コロナウイルスの影響もあり、世の中は暗い雰囲気。という事で、モヤモヤを吹き飛ばす為に、毎月第一木曜に行われる目標設定プログラムにて皆さんの密かに楽しんでいる事をお聞きしました。

「物干しハンガー(ピンチハンガー)をバランスよく水平に保つ」といった自宅での楽しみ事や、「街中の人間観察」といった外出先での楽しみ事など、数多くの意見が挙げられました。中には、「店に入って何秒間店員さんに気づかれずにいられるか」といったユニークな楽しみ事も。入口がレジの近くにあるコンビニでは難易度が高そうです(笑)

まだまだ新型コロナウイルスの猛威は衰えていません。普段の生活の中で自分だけの楽しみを見つけ、気持ちを明るくしていきましょう！

ちなみに、私の密かな楽しみは、「自宅から最寄り駅までの道中でいつもすれ違う人と、どこですれ違うか」です(笑)

ホームページ

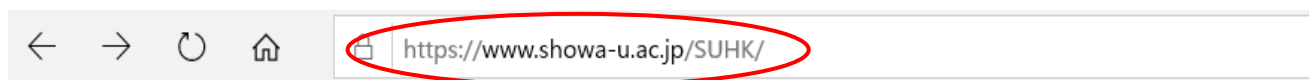
精神医学教室 講師 常岡 俊昭

コロナウイルスの感染が社会的な大問題になっています。病院でも、何を続けて、何を中止する、何を変えていくなどが日々話し合われています。患者さんからは各プログラムや作業療法・デイケアの実施状況について、問い合わせが増えました。

鳥山病院では出来る限り、病院のホームページで皆さんに各プログラムや作業療法・デイケアなどの状況をお伝えできればと思っています。

<https://www.showa-u.ac.jp/SUHK/>にアクセスいただくか、「昭和大学附属鳥山病院」で検索いただければと思います。

過去の“あおぞら”も見られるようになっていきますので、自宅でお暇なとき等読んでいただけたら幸いです。



昭和大学
附属鳥山病院

▶ [昭和大学 Home](#) ▶ [医学部 Top](#) ▶ [サイトマップ](#)



昭和大学
附属鳥山病院

▶ [昭和大学 Home](#) ▶ [医学部 Top](#) ▶ [サイトマップ](#)

[受診のご案内](#) [入院のご案内](#) [診療科のご案内](#) [病院のご案内](#) [医療関係](#)

ホーム > 病院のご案内 > 病院だより

病院だより

今まで発行した「病院だより(あおぞら)」をご覧ください。病院だよりは、PDF形式となります。

病院だより	2020年3月9日	2020年1月号
病院だより	2020年3月9日	2019年12月号
病院だより	2020年1月27日	2019年11月号
病院だより	2020年1月8日	2019年10月号
病院だより	2019年12月20日	2019年09月号



禁煙外来

精神医学教室 講師 常岡 俊昭

「わかっちゃいるけどやめられない」

タバコがその対象な人も多いのではないのでしょうか？当院のある世田谷区は基本外では吸えなくなりまし、多くのグループホームなど社会資源も禁煙が入居の条件となってきました。また値上げによってたばこ代が生活を脅かしていると言う声も多く聞きます。

禁煙は病院も力になることができる時代です。とはいっても、禁煙のために新しく病院に行って一から話すのは大変、という方も多いのではないのでしょうか？また中には「精神科薬を飲んでいる場合は対応できない」と悲しいことを言われることもあるようです。

そこで当院では、2020年3月から隔週木曜日午後禁煙外来を始めることとしました。禁煙外来は呼吸器内科の医師と依存症を専門とする医師が相談しながら行っていく予定です。

「この煙草をやめたら、たばこ代で何が買えるだろう」と思いをはせたら主治医の先生に相談してみてください。今より健康的な生活のお手伝いをさせていただきます。

総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～土曜日・8時30分～17時
電話：月曜日～金曜日03-3300-5329
土曜日 03-3300-5231
◎初診受付：月曜日～土曜日・8時30分～11時
◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《2月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数	7,457 (8,350)	5,787 (6,034)
◇一日平均患者数	257.1 (269.4)	251.6 (262.3)
◆診療実日数	29 (31)	23 (23)

【編集後記】

世の中がコロナ対策一色です。普段当たり前に行っていた歓送迎会や研修会、勉強会なども3密を避けるためになくなっています。学生の頃に戦時中を生きた祖父から言われた、「自由気ままに勉強できる幸せ」をこんなにも噛みしめる日が来るとは・・・。

コロナが終息したときに、より普段の幸せを大事にできる自分たちであれば良いなと思っています。

広報委員 常岡

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちして

おります。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp

